

三原福地線道路改良工事(その1)の工期算定

1. 当該工事の工期を算定するため次の事項について検討する。

- (1) 準備及び跡片付けに要する日数
- (2) 主要工事について日標準作業量をもとにして、月別稼働日数から、段取り、機械の整備日などを考慮して月別標準作業量を算定し、全工事量に必要な日数を算定する。
- (3) 年末年始休暇(6日間)、夏季休暇(3日間)

2. 土木工事の稼働率の算定

不稼働日は1日の降水量が10mm以上あった場合とする。

地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
名護	4	3	5	4	6	6	4	5	4	3	3	3

$$A = \frac{B - (C + D + E - F)}{B} = 0.58$$

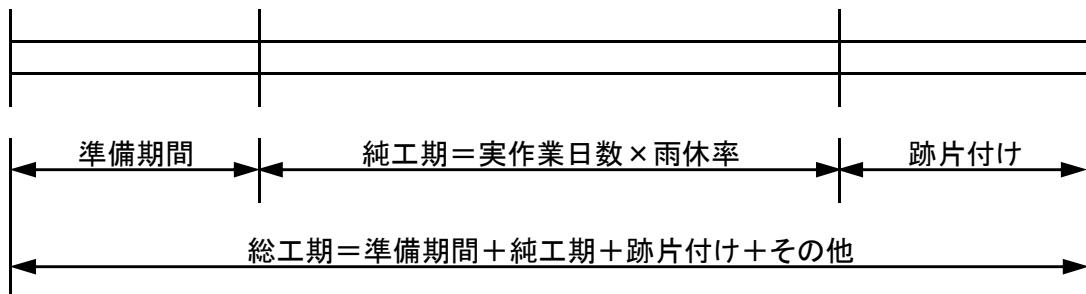
A: 稼働率	
B: 年間日数	365日
C: 日曜・土曜(閉庁)の日数	(365/7)*2=104日
D: 祝祭日の日数	17日
E: 降雨日数	上記表参照
F: C、DとEが重複する日数	E/B*(C+D)

「沖縄県土木建築部監修:土木工事設計要領」より

3. 雨休率

$$\text{雨休率} = 1 \div \text{稼働率} - 1 = 1 \div 0.58 - 1 = 0.72$$

4. 工期の算定



今回工事の総工期

総工期	準備期間	純工期	跡片付け	その他
136	40	73	20	3

※純工期=別紙工期算出数量計算書より算定の日数

$$\text{不稼働日数} = \text{実作業日数} \times \text{雨休率} = 25.00 \times 0.72 = 18 \text{ 日}$$

$$\text{純工期} = \text{実作業日数} + \text{不稼働日数} + \text{支障物件移設調整期間} = 25.00 + 18 \text{ 日} + 30 \text{ 日} = 73 \text{ 日}$$

$$\text{必要日数} = 136$$